

# 競技注意事項

1 本大会は2016年度(財)日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

2 団体受付は競技場正面スタンド前テントにて行う。(22日(金)13時より随時)

## 3 ナンバーカード(ビブス)について

- (1)支給されたナンバーカードをそのままの大きさをユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍種目は、胸または背につけるだけでよい。(小学生は胸と背に確実につける)
- (2)トラック競技に出場する競技者(リレー種目は第4走者のみ)には、写真判定用の「腰ナンバーカード」を配付する。ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
- (3)腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係(フィニッシュライン前方スタンド側)に返却する。

## 4 ウォーミングアップ場について

(1)ウォーミングアップ場としてパロマ瑞穂北陸上競技場を使用する。

26日(金)は13時～16時 「パロマ瑞穂スタジアム(本陸)も使用できる」

27日(土)は8時～17時 28日(日)は7時30分～17時

※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。

1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル

(2)大会当日競技開始前のパロマ瑞穂スタジアムは、トラック走路に限り次の時間、練習を認める。

27日(土)は7時30分～9時00分 28日(日)は7時15分～8時30分

(3)投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。

(4)パロマ瑞穂スタジアム2階室内雨天走路の使用は競技役員の指示に従う。

(事故防止・安全確保の措置)

(5)北陸上競技場において、直走路でのスターティングブロックの使用は100mHの練習を除き、

110mHのスタートラインから行うこと。(事故防止・安全確保の措置)

## 5 招集について

(1)招集所は正面スタンド下、100mスタート付近競技者ホールに設ける。

(2)招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。

(3)招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	種目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	30分前	20分前
跳躍競技	走幅跳 三段跳 走高跳	50分前	40分前
	棒高跳	90分前	80分前
投てき競技	砲丸投	40分前	30分前
	円盤投 ハンマー投 やり投	50分前	40分前

小学生	トラック種目	30分前	20分前
	フィールド種目	40分前	30分前

(4)他の種目に出場しているなどの特別の事由がある場合には、代理人による招集を認めるので競技者係主任(招集所)に事前に申し出る。その際に、「同時2種目届用紙」を提出すること。

(5)リレーの「オーダー用紙」は、招集完了時刻の1時間前までに競技者係へ提出する。

(6)出場種目を欠場する場合は、招集完了時刻までに招集所審判長まで所定の用紙で届け出ること。

※(4)～(6)で提出する用紙は、受付(正面階段前)に準備している。

## 6 競技場への入退場について

(1)入場は、すべて招集所より係の誘導により行う。

(2)退場は、次のように行う。

①トラック競技 フィニッシュ地点退場口から退場する。

- ・ただし、決勝において1～3位の入賞者はフィニッシュ地点待機所より係（場内司令）によって表彰室へ誘導する。4×100mRの第1～第3走者は係員の指示に従い退場する。
- ・決勝においては、衣類をフィニッシュ地点へ運搬する。（予選は運搬しない。）

②フィールド競技 競技役員の指示・誘導による。

- ・1～3位の入賞者は、競技終了後フィールド審判員によって表彰室に誘導する。

7 レーン順・試技順について

- (1)トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2)決勝の組合せ及びレーンは、アナウンス及び正面階段上の掲示版、大型ビジョンにより発表する。

8 トラック競技の次のラウンド進出の決定について

- (1)タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、1000分の1まで判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。  
(競技規則第167条)
- (2)抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。アナウンスされてから10分以内に本部へ集合する。
- (3)進出決定者は、アナウンス及び大型ビジョン、スタンド正面階段上の掲示版で発表する。

9 競技について

(1)トラック競技について

- ①スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）不正スタートは1回で失格とする。  
小学生は日本語で行う。同じ競技者が不正スタートを2回行うと失格となる。
- ②すべて写真判定装置を使用する。
- ③レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ④短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ⑤5000m、10000m、3000mCで出場者多数の場合は、2段階のグループスタートとなる。グループ分けは、出場人数に応じて主催者が行う。
- ⑥男子 5000mWはスタート後30分・女子 5000mWはスタート後35分でレースを打ち切る。  
ただし、最終周回にある選手は、この限りにない。

(2)フィールド競技について

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ②砲丸投を除く投てき競技の計測は、光波測定器を使用する。
- ③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。
- ④三段跳の踏切板は、男子13m・女子10mで行う。

- (3)競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができない。

(競技規則第144条2b)

- (4)不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤のカードを示すことによって競技者に知らされる。
- (5)抗議は、結果発表のアナウンス後30分以内(次のラウンドが行われる競技では15分以内)に、競技者自身または代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらにこの裁定に不満の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて上訴審判員に文書で申し出る。この預託金は、抗議が却下された場合は返却しない。上訴申立書は、担当総務員が準備する。

10 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

小学生のバーの上げ方は下記の通りとする。

	練習	1	2	3	4	
男女走高跳	1m00又は1m20	1m10	1m15	1m20	1m25	以後5cm

- ・走高跳は、はさみ跳とし、メットへの着地は足の裏からとする。それ以外は無効試技となる。

・小学生の走幅跳とジャベリックボール投（やり投のピットを使い助走は15m以内）の試技は3回とする。

・選手権の部のバーの上げ方

（ただし、天候等の状況により変更することがある。）

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
女子走高跳	1m45又は1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	以後3cm
男子走高跳	1m75又は2m00	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	以後3cm
女子棒高跳	2m30又は3m00	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	以後10cm
男子棒高跳	4m20又は4m70	4m30	4m50	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	以後10cm

※練習はA、Bいずれか希望する高さで行う。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

※棒高跳の競技者は競技場所で「棒高跳支柱位置申請」を提出する。用紙は招集所に用意する。

## 11 競技用器具について

(1) 競技に使用する器具は、以下の場合を除き、すべて主催者が用意したものを使用する。

(2) やり、円盤、ハンマーに限り、競技場に設置されている用具にないもの、もしくは1つしかないものは持ち込みを認める。希望者は、各競技時間開始2時間前から90分前の間に検査を受ける。検査に合格した用具は預り証を発行の上、一括借り上げし参加競技者で共有できるものとする。検査場は、フィニッシュ地点近くの南器具庫とする。

## 12 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

## 13 表彰について

(1) 各種目1～3位に賞状・メダルを、4～8位には賞状を授与する。

(2) 表彰式は1～3位の入賞者に対して行う。表彰対象の選手は競技終了後、競技役員の誘導で表彰室に集合すること。

(3) 4～8位の入賞者は、成績発表後、メインスタンド下にある表彰室まで賞状を受取りに来ること。

## 14 第101回日本陸上競技選手権大会の申込みについて

第101回日本陸上競技選手権大会要項により申し込む。（2017年度）

## 15 東海小学生リレーについて

大会要項に従って実施し、リレー競走に出場しない選手については、100mオープン競走に出場する。

## 16 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

(1) 開門時刻は、午前7時00分である。それ以前には立ち入らない。

(2) バックスタンドの上部以外には応援幕等を張ってはならない。

(3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入って行わない。

(4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

## 17 一般的注意事項

(1) 本大会は大型ビジョンを活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出ること。

(2) 商標等の規則については、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に違反したものについて、主催者で処置する。

### ① ベスト・レオタード

#### a 製造会社名に関して

○ ベストー製造会社名／ロゴをベストの前に1カ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内で、面積30cm<sup>2</sup>以内の長方形とする。

○ レオタードー製造会社名／ロゴの表示は以下のいずれかとする。

#### ■ セパレートタイプ

レオタードの前に1カ所表示することができる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内

トータルのロゴの高さは5 cm以内で、面積30cm<sup>2</sup>以内の長方形とする。

■ワンピースタイプ

レオタードの前に2カ所表示できる。ウエストより上部、下部にそれぞれ1カ所とするが、それぞれの表示が隣接してはならない。その大きさはそれぞれ文字の高さ3cm以内、トータルのロゴの高さは4cm以内で、面積は20cm<sup>2</sup>以内の長方形とする。

b クラブ名、クラブスポンサー名／ロゴまたはクラブロゴに関して

いずれか1つをベストまたはレオタードの前側に表示することができる。文字の高さは4 cm以内（ロゴが含まれている場合は高さ5 cm以内）の長方形とするが、クラブロゴは面積40cm<sup>2</sup>以内とする。クラブ名は、ベストの背部につけることができる。その文字の高さは4 cm以内とするが、長さの制限は設けない。

c その他

競技中に衣類を2枚重ねて着用（例：ベストの下にTシャツを着用/ショーツの下にタイツを着用）し、下の衣類が露出している場合、下の衣類は無地でなければならない。

② トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット

製造会社名／ロゴを衣類の前（右胸か左胸）に1カ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4 cm以内、トータルのロゴの高さは5 cm以内で面積40 cm<sup>2</sup>以内の長方形とする。

③ 下半身の衣類（ショーツ・タイツ・ソックス等）

製造会社名／ロゴを1カ所表示することができる。高さ4 cm以内、面積20 cm<sup>2</sup>以内とする。ただし、ソックスは3 cm以内、面積6 cm<sup>2</sup>とする。

④ その他の衣類

ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンドなどの製造会社名／ロゴは、衣類（製品）1つにつき1カ所表示することができる。面積は6 cm<sup>2</sup>以内とする。

⑤ バッグ類

製造会社名／ロゴは、各バッグ2カ所まで表示することができる。それぞれの表示の大きさは25cm<sup>2</sup>以内とする。

(3) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。

(4) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。

(5) 棒高跳用ポール返送希望者はフィニッシュ付近の南器具庫へポールを持参し、手続きをする。両日とも14時まで受け付ける。

(6) 参加申込書に記載の個人情報、参加受付・プログラム作成などの本大会の運営、成績の報道発表に使用する。また、大会出場中における映像・写真・記録などへの記載権は主催者に属する。

(7) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室（フィニッシュ付近スタンド下）において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。**

(8) 記録証は、記録室へ500円（送料込み）を添えて最終競技終了時刻までに申し込む。

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。

◆**選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください**◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※観客席の撮影を禁止するエリアは、下記の区域とします。

- ・各種目のスタート後方　　・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
- ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。